

平成21年 5月18日

各 位

会 社 名 ユニコムグループホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 二 家 英 彰
 (J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4)
 問合せ先 専 務 取 締 役 酒 井 清 行
 TEL 0 3 - 5 6 2 3 - 8 7 4 4

連結子会社の異動(譲渡)並びに株式譲渡契約書締結に関するお知らせ

当社は、本日付で株式会社ISホールディングス(以下、「ISH社」との間で、当社が保有するアイディーオー証券株式会社(以下「ID0証券」)及びエフ・エックス・プラットフォーム株式会社(以下「FXP社」)の普通株式(ID0証券38,402株、FXP社1,496株、以下、「本件株式」)をISH社への譲渡する旨の「株式譲渡契約書」を締結し、本件株式をISH社に譲渡いたしましたので、お知らせ申し上げます。

また、本件株式譲渡に伴いまして、ID0証券及びFXP社は、当社の連結子会社から除外される事となりましたので、併せてお知らせ申し上げます。

記

・本件株式譲渡契約書締結の経緯及び目的

平成21年5月1日付プレスリリース「連結子会社の譲渡(異動)に関する合意書締結、並びにグループ会社再編及び統合の撤回に関するお知らせ」でお知らせしておりましたとおり、当社は連結子会社ID0証券及びFXP社をISH社へ譲渡する事を決定し、平成21年5月1日付でISH社と「株式譲渡に関する合意書」を締結いたしました。

当該合意書締結の後、本件株式譲渡に関してISH社と協議を重ねてまいりましたが、この度、以下の内容(「 . 本件株式譲渡契約書の概要」をご参照下さい)にて合意に達した事から、本日付でISH社と「株式譲渡契約書」を締結した次第でございます。

なお、本件株式譲渡に至った経緯及び目的並びに本件株式譲渡後の当社グループの経営方針等につきましては、上記プレスリリース「連結子会社の譲渡(異動)に関する合意書締結、並びにグループ会社再編及び統合の撤回に関するお知らせ」及び平成21年5月14日付プレスリリース「株式譲渡契約書締結日の延期に関するお知らせ」をご参照ください。

・本件株式譲渡契約書の概要

1. 本件株式の譲渡日を平成21年5月18日とする。
2. 本件株式譲渡後、ID0証券及びFXP社の以下の部門(以下、「譲渡対象外部部門」)については、以下のとおり当社の子会社が承継する。

部門名	承継方法	承継子会社
ID0証券の商品先物取引部門	吸収分割	日本ユニコム株式会社(NU社)
ID0証券の証券コールセンター部門	吸収分割	日産センチュリー証券株式会社(NC証券)
ID0証券の証券ディーリング部門	システムの 売買	同上
FXP社の商品先物取引部門	吸収分割	日本ユニコム株式会社(NU社)

譲渡対象外部部門の承継にあたっては、承継子会社よりID0証券またはFXP社に対して、承継対価(現金)を支払うものとする。

3. 譲渡対価

ID0証券: 21億円に、上記2. 表中の 、 の承継対価に相当する額を加算した額

FXP社 : 2億円に、上記2. 表中の の承継対価に相当する額を加算した額

譲渡対価に関する詳細は「 . 本件株式譲渡対価及び特別損失の発生について」をご参照下さい。

・本件株式譲渡対価及び特別損失の発生について

本件株式譲渡の対価は、ID0証券及びFXP社それぞれの純資産額を基準とし(ID0証券36億円、FXP社5.8億円)、各社の現状の収支状況及び将来の事業見通し、その他資産の有用性等を精査し、決定しております。

なお、上記 .に記載のとおり、本件株式譲渡後、譲渡対象外部部門が当社子会社に承継・譲渡されるというスキームとなっております。つまり、本件株式譲渡日時点においては、譲渡対象外部部門も含めて一旦はISH社に全てが売却されるという形となるため、本件株式譲渡価額につきましては、“譲渡対象部門(証券取引部門及びFX取引部門)”と“譲渡対象外部部門(商品先物取引部門、証券コールセンター部門及び証券ディーリング部門)”の価値の合計ということになります。

譲渡対象部門に係る価値につきましては、ID0証券で21億円、FXP社が2億円となっております。また、譲渡対象外部部門に係る価値につきましては、上記 .の吸収分割契約またはシステムの売買契約(以下、「吸収分割契約等」)の締結時までに算出し、吸収分割契約等の分割期日またはシステムの譲渡期日をもって、ISH社から当社に対して支払われるものいたします(同時に、当社子会社からID0証券又はFXP社に対して同額が吸収分割等の対価として支払われます)。

以上の内容を算式にいたしますと下記のとおりとなります。

ID0証券株式譲渡対価	= 「21億円」 + 「譲渡対象外部部門の事業価値(商品先物取引部門、証券コールセンター取引部門、証券ディーリング部門)」
FXP社株式譲渡対価	= 「2億円」 + 「譲渡対象外部部門の事業価値(商品先物取引部門)」

譲渡対象外部部門の事業価値につきましては、上述のとおり、分割契約等の締結時に確定いたしますので、本件株式譲渡対価につきましては、後日正式に決定次第、改めてお知らせ致します。

また、現在のところ本件株式譲渡によって、子会社株式売却損の発生を見込んでおりますが、上述のとおり本件株式譲渡対価は後日に調整されること、及び会計処理上は本件株式の譲渡日が、平成22年3月期第1四半期末(平成21年6月30日)とみなされるため、本件株式に係る連結上の簿価が現時点では不明なことから、当該売却損につきましても確定次第、お知らせする予定であります。

・子会社株式の譲渡の概要

1. 異動する会社の概要(平成21年4月30日現在)

(1) アイディーオー証券株式会社

商号	アイディーオー証券株式会社
代表者	代表取締役社長 西 孝夫
所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目38番11号
設立年月日	昭和23年4月22日
主な事業内容	金融商品取引業、商品先物取引業
決算期	3月31日
従業員数	82名
主な事業所	東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目38番11号
資本金の額	20億円
発行済株式総数	38,912株

大株主の構成及び所有割合

株主名	株式数	所有割合
ユニコムグループホールディングス株式会社	38,402株	98.7%

最近事業年度における業績の動向

	平成19年3月期	平成20年3月期
営業収益	705百万円	1,079百万円
営業利益	272百万円	28百万円
経常利益	224百万円	5百万円
当期利益	237百万円	367百万円
総資産	2,489百万円	32,260百万円
純資産	2,070百万円	4,508百万円
一株当たり期末配当金	- 円	- 円

(2) エフ・エックス・プラットフォーム株式会社

商号 エフ・エックス・プラットフォーム株式会社
代表者 代表取締役社長 種田 健
所在地 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目38番11号
設立年月日 平成13年11月22日
主な事業内容 外国為替証拠金取引に関わるASP事業
決算期 3月31日
従業員数 28名
主な事業所 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目38番11号
資本金の額 50百万円
発行済株式総数 1,746株
大株主の構成及び所有割合

株主名	株式数	所有割合
ユニコムグループホールディングス株式会社	1,496株	85.7%
SBIホールディングス株式会社	250株	14.3%

最近事業年度における業績の動向

	平成19年3月期()	平成20年3月期
営業収益	88百万円	725百万円
営業利益	4百万円	51百万円
経常利益	4百万円	52百万円
当期利益	2百万円	26百万円
総資産	368百万円	791百万円
純資産	315百万円	581百万円
一株当たり期末配当金	- 円	- 円

平成19年3月期は、決算期間の変更を行ったため、平成19年1月1日から平成19年3月31日までの3ヶ月決算となっております。

2. 株式の譲渡先

商号 株式会社ISホールディングス
代表者 代表取締役社長 遠藤 昭二
所在地 東京都千代田区丸の内1丁目11番1号
主な事業内容 IT基盤総合金融事業
当社との関係 なし

3. 譲渡株式数、譲渡価額及び異動前後の所有株式の状況

(1) アイディーオー証券株式会社株式

異動前の所有株式数 38,402株 (所有割合98.7%) (議決権の数38,402個)
譲渡株式数 38,402株 (譲渡価額 1) (議決権の数38,402個)
異動後の所有株式数 0株 (所有割合 0%) (議決権の数 0個)

- 1 譲渡価額につきましては、上記「 . 本件株式譲渡対価及び特別損失の発生について」をご参照下さい。

(2) エフ・エックス・プラットフォーム株式会社株式

異動前の所有株式数 1,496株 (所有割合85.7%) (議決権の数 1,496個)
譲渡株式数 1,496株 (譲渡価額 2) (議決権の数 1,496個)
異動後の所有株式数 0株 (所有割合 0%) (議決権の数 0個)

- 2 譲渡価額につきましては、上記「 . 本件株式譲渡対価及び特別損失の発生について」をご参照下さい。

4. 今後の予定

平成21年6月中旬	IDO証券とNU社間で商品先物取引部門の吸収分割契約締結 FXP社とNU社間で商品先物取引部門の吸収分割契約締結
平成21年6月末	IDO証券とNC証券間で証券ディーリングシステムの売買契約締結 IDO証券及びNU社にて吸収分割承認のための株主総会開催 FXP社とNU社にて吸収分割契約承認のための株主総会開催
平成21年7月末	FXP社とNU社間の商品先物取引部門の吸収分割期日
平成21年8月初旬	IDO証券とNU社間の商品先物取引部門の吸収分割期日
平成21年8月末	IDO証券とNC証券間の証券ディーリングシステム売買期日 IDO証券とNC証券間で証券コールセンター部門の吸収分割契約締結 (簡易分割)
平成21年9月末	IDO証券とNC証券間の証券コールセンター部門の吸収分割期日

上記スキーム及びスケジュールにつきましては現段階の予定であり、本件再編に係る手続きの詳細及び再編後の各社概要等は未定となっております。これらは、後日決定次第、適時開示させていただきます。

なお、本件は、NU社、NC証券及びIDO証券の各事業を主管する関係当局及び関連団体又は関連機関等から、それぞれ必要な許可、認可、又は承認等を得ることが前提となっております。

・業績に与える影響

本件子会社株式譲渡後のIDO証券及びFXP社が連結子会社でなくなることによる当社連結業績の営業収益、営業収支、経常収支に与える影響は現在精査中であるため、後日判明次第、お知らせしてまいります。

また、本件株式譲渡による子会社株式売却損の発生を見込んでおりますが、上述のとおり現時点では当該損失額の確定はできません。

最終的に平成22年3月期の当社連結及び個別業績に計上する子会社株式売却損につきましては、譲渡対象外部部門の当社子会社への承継が全て完了する(本年秋頃)までに確定する見込みであり、本件株式譲渡価額が確定したのち、改めてお知らせ致します。

以 上